

令和7年度岩手県地域ケア会議に参画するリハビリテーション専門職育成研修会 開催要領
(ハイブリッド開催)

- 1 目的：リハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士をいう。以下同じ。）を対象に、自立支援型地域ケア会議への関与の手法や多職種との連携、リハビリテーション専門職の役割について理解を深めることにより、市町村における地域包括ケアシステムの一層の深化・推進のための取組を支援するために開催します。
- 2 主催：岩手県（受託運営：公益財団法人いきいき岩手支援財団）
- 3 協力：岩手県リハビリテーション支援センター（公益財団法人いわてリハビリテーションセンター）
地域リハビリテーション広域支援センター（各圏域の指定病院・施設）
一般社団法人岩手県理学療法士会、一般社団法人岩手県作業療法士会、岩手県言語聴覚士会
- 4 対象者：市町村等が実施する地域ケア会議に参画するリハビリテーション専門職(予定者を含む)、市町村及び地域包括支援センターの地域ケア会議担当職員等、その他主催者が認めるもの
- 5 日時：令和7年11月15日（土）10：30～16：50（受付10：00～）※オンデマンド配信あり
- 6 内容
 - (1) 講義1（10：30～11：50）
「自立支援型地域ケア会議の意義について～臨床活動と地域支援活動の実践を通じて考えること～」
講師：一般社団法人岩手県作業療法士会 事務局地域包括ケア推進委員会 ケア会議班長
介護老人保健施設ケアホーム川口 リハビリ課 作業療法士 千葉 正毅 氏
 - (2) 講義2（13：00～14：20）
「認知症の家族介護者の理解と支援」
講師：社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター センター長
東北福祉大学 総合福祉学部 福祉心理学科 教授 加藤 伸司 氏
 - (3) 講義3（14：30～15：50）
「自立(自律)支援におけるリハビリテーション専門職の役割と助言方法
～多職種連携で行う自立支援会議、サービス担当者会議、チームケア～」
講師：株式会社けあけあ ふくしの人づくり研究所 代表 奥田 亜由子 氏
 - (4) 講義4（16：00～16：50）
「リハビリテーション栄養の重要性について」
講師：公益社団法人岩手県栄養士会 副会長 管理栄養士 千葉 忍 氏

7 受講方法、定員等

令和7年11月15日（土）10：30～16：50		※左記以降の限定期間
会 場	オンライン（Zoom）	※オンデマンド配信
盛岡地域交流センター マリオス180、181 会議室 （盛岡市盛岡駅西通2-9-1）	情報機器（パソコン、タブレット、スマートフォン等）及び通信環境を各自準備のこと	同左（限定期間等はおって通知する）
定員：65名	定員：50名	—
受講料：無料		

- 8 申込方法
別紙申込用紙（ワード）に必要事項を記入の上、令和7年10月24日（金）までに担当者あてメール（ta-yoshida@silverz.or.jp）で申し込みください。（ワード可。PDF不可。定員超過時は要調整。）
なお、当日使用するPCごとのメールアドレスを必ず申込用紙に記載してください。
※1 開催の概ね1週間前までにメールアドレスあてZoom ミーティングID等を送付します。
※2 申込用紙の様式は財団ホームページ↓（岩手県高齢者総合支援センター）に掲載します。
（https://www.silverz.or.jp/silver_center_cat/silver_shien/）

- 9 その他
研修会資料はオンデマンド配信での受講者を除き、事前にメールで送付します。
オンデマンド配信での受講の場合は、受講後にアンケートを提出した方にのみ後日資料を送付します。

- 10 問い合わせ先
公益財団法人いきいき岩手支援財団 岩手県高齢者総合支援センター
担当：吉田、野口 電話：019-625-7490 F A X：019-625-7494